

大学生の学び びに 触れる

法政大学藤代研究室 10周年「オープンゼミ」

藤代ゼミの大学生や卒業生が企画・運営しており、来てくださった高校生のみなさんに大学で学ぶ楽しさをお届けします。ダイバーシティやフェイクニュースをテーマに、ソーシャルメディアがもたらす課題や可能性について考えます。

- ・ 日 時：2023年8月11日（金・祝）
- ・ 場 所：ニュースパーク（日本新聞博物館）
横浜市中区日本大通11 みなとみらい線「日本大通り駅」直結
- ・ 参加費：イベントは無料。入館料（高校生200円）が必要です。
- ・ 事前申込が必要です。下記QRコードからお願いします。



法政大学社会学部メディア社会学科 藤代裕之研究室

東京都町田市相原町4342

fujisirolab@gmail.com

大学生の学びに触れる

— 法政大学藤代研究室 10周年「オープンゼミ」 —

〈 本イベントの特徴 〉

- 大学や教員ではなく「大学生」を知ることができる。
- ゼミ生とゼミ卒業生が、企画・運営を担当している。
- 大学生の学びをゼミ生と話して知ることができる。

〈 概要 〉

法政大学社会学部メディア社会学科藤代裕之研究室（ゼミ）は、2023年8月11日・12日の2日間、横浜の日本新聞博物館で10周年を記念した「オープンゼミ」を開催します。藤代ゼミはソーシャルメディア時代の「伝える」をテーマに活動しています。「オープンゼミ」は、ゼミ生や卒業生が運営の中心となり、ジャーナリズムやクリエイティブなど「伝える」ことに関わる多彩なゲストをお招きして、メディアの未来を考えます。11日に高校生向けのワークショップと高校生も参加できるトークセッションを設定し、実際に大学生が興味を持ち学んでいることを知ることができるプログラムを用意しました。多様性(ダイバーシティ)やフェイクニュースなどをテーマに、ソーシャルメディアがもたらす課題や可能性について、来てくださった高校生みなさんに大学で学ぶ楽しさをお届けします。

- 日時：2023年8月11日(金・祝)
- 会場：ニュースパーク（日本新聞博物館）
横浜市中区日本大通11、みなとみらい線「日本大通り駅」直結
- 参加費：イベントは無料。博物館の入館料（高校生200円）が必要です。
- 申し込み：事前申込が必要です。
- 持ち物：筆記用具

主催：法政大学社会学部 藤代裕之研究室

協力：日本新聞博物館

〈 問い合わせ 〉

法政大学社会学部 藤代裕之研究室
東京都町田市相原町4342
fujisirolab@gmail.com

〈 プログラム・スケジュール 〉

高校生向けプログラムは1時間のワークショップとトークセッションの前後に、ゼミ生による博物館ツアーと意見交換が組み合わされています。セッションのみの参加は原則としてできませんのでご注意下さい。博物館では企画展「多様性 メディアが変えたもの、メディアを変えたもの」を開催中です。

日時	プログラム内容
ワークショップ① (高校生向け)	フェイクニュースを見抜くワークショップ 概要：フェイクニュースを題材にグループでの作業や議論を通して怪しい情報との付き合い方を考えます。 企画・進行：内田響 (藤代ゼミ4年)
10:00-12:00	
トークセッション①	共感社会における多様性理解とインタビュー 概要：「共感」が求められるソーシャルメディア時代に、インタビューの在り方から多様性理解の本質を探ります。 登壇者：依光隆明 (ジャーナリスト)、市川文子 (リ・パブリック)、清水淳子 (多摩美術大学) 企画・進行：青柳美里 (藤代ゼミ8期)
12:30-14:30	
トークセッション②	SNS時代のニュースと物語を問う 概要：企業や個人にも物語を求められる中で、ニュースがどのような物語を紡ぐことができるのかを問い直します。 登壇者：石戸諭 (ノンフィクションライター)、明知隼二 (中国新聞)、田村真菜 (NPOスタッフ) 企画・進行：後藤現 (藤代ゼミ7期)
13:45-15:45	
トークセッション③	加速する消費時代のメディアの在り方 概要：メディアが消費を促進するだけでなく、企業、地域、ブランドを支えるための転換が可能か考えます。 登壇者：森永真弓 (博報堂DYメディアパートナーズ)、小川丈人 (ナディア) 企画・進行：秋山聡美 (藤代ゼミ4期)
15:00-17:00	

〈 申し込み 〉

事前の申し込みが必要となります。

右側のQRコードから申し込みをお願い致します。

